

## 中小企業金融に関するアンケート調査結果の概要

中小企業金融の実態把握の一環として、平成21年2月から3月上旬にかけて、全国の財務局等を通じて、商工会議所及び経営指導員等を対象に聴き取り調査を実施したところ、その調査結果の概要は以下の通り。

### 1. 商工会議所に対するアンケート調査（2月実施）

- 各都道府県の商工会議所 47 先に対し、会員企業の業況や資金繰りの現状と先行き等について聴き取り調査を実施。

① 中小企業の業況感は、一段と厳しいものとなっている。

要因としては、「売上げの低迷」の割合が最も大きく、その割合は前回よりも上昇。次いで、「販売価格の下落」が続く。

② 中小企業の資金繰りも、一段と厳しいものとなっている。

要因としては、「販売不振・在庫の長期化等の営業要因」が最も大きく、その割合は前回よりも上昇。次いで、「金融機関の融資態度・融資条件」が続く。

### 2. 金融機関の融資動向等に関するアンケート調査（2月～3月上旬実施）

- 各地域の商工会議所の経営指導員等 537 名を対象に、金融機関(業態別)の融資姿勢に対する評価等について聴き取り調査を実施。

① 金融機関の融資姿勢に対する「消極的評価」は、主要行が最も大きく、次いで地域銀行、協同組織金融機関、政府系金融機関の順となっている。

「積極的評価」は、政府系金融機関が最も大きく、次いで協同組織金融機関、地域銀行、主要行の順となっている。

② 経営指導員等における認知状況は以下の通り。

- ・ 「金融検査マニュアル別冊（中小企業融資編）」 95.1%
- ・ 「貸出条件緩和債権に該当しない場合の取扱いの拡充」 84.2%
- ・ 「金融円滑化ホットライン」 81.9%